

アンケート特集号

神納地域まちづくり新聞

第21号 発行：神納地域まちづくり協議会

神納地域出身者まちづくり アンケート調査結果について

神納地域まちづくり協議会では、8月に帰省された神納地域で育ち現在地元を離れ生活している方を対象にアンケート調査を実施いたしました。

この調査は、年々地域を担う子供たちが減少する中、神納地域の良さや問題点、満足度、住みやすさや定住意向など、まちづくりに関する意識を把握し、みんなで地域を元気にする取り組みを検討していくために実施しました。

アンケート調査結果のポイント（分析レポートより抜粋）



◇居住地別・神納地域の印象の変化

(問1・問16)

新潟県内より県外在住の方が「良くなった」と回答する割合が高めでした。

◇年代別・神納地域印象の変化

(問2・問16)

30代は半分以上が「良くなった」と回答。全体でも「良くなった」が4割近くになりました。

◇家族構成別・神納地域の印象の変化

(問6・問16)

単身より既婚者の方が「良くなった」と回答する割合が高めでした。

◇年代別・神納地域の住みやすさについて。(問7)

全体の7割以上が「まあまあ住みやすかった」を含め「住みやすかった」と回答がありました。

特に40代よりも若い方が「住みやすかった」と回答しています。



◇年代別・Uターンの意向では

(問2・問8)

全体の2割がUターン(帰省定住)希望で、「まだわからない」と回答した人も3割以上いました。

◇年代・家族構成別・Uターンの意向では(問2・問6・問8)

20代単身の5割、30代単身の7割が「どちらともいえない」また、30代・40代の2世代同居の25%が「神納地域を希望」また、30代3世代同居、40代夫婦も「神納地域を希望」の割合が高めでした。

調査結果の公表について

○アンケートの調査報告書及び、分析レポートについては、各集落の回覧とさせていただきますが、必要な方へはお渡しも出来ます。

また、ホームページで「神納地域まちづくり協議会」で検索していただければご覧いただけます。

また、アンケートの回答をしてくださった、皆様へご連絡をしていただければ幸いです。



今回のアンケート調査結果では、問9のUターンしたい方も多いのですが、できない理由として『仕事や生活が確保できないと思うから』や、また、問11の日常生活について不安や不満に感じていると思うことについては、『農地・山林の維持管理』や『地域・集落等での仕事・行事が多くて忙しすぎる』と回答も多くありました。

今回のアンケート調査から見えてきた課題などを話し合いながら、将来、地域を支える人材が不足する傾向にある中、「負担感」が大きくなっている事も事実です。関係人口を増やしながらか、無理をせず「地域の魅力を保ち、人が減っても安心して暮らせる地域づくり」を考えて行きます。

※村上市のホームページで「市民協働のまちづくり」を紹介しています。是非ご覧ください。

■ご意見・ご感想・問い合わせ

- ◆村上市神林支所
地域振興課自治振興室
担当：鴻島(こうじま)
- ◆電話・告知端末
66-6122
- ◆E-mail
k.shinko-chiiki@city.murakami.lg.jp
- ◆URL
<http://www.city.murakami.lg.jp/>

◇ 当まちづくり協議会では計画していた事業もほぼ終了し、来年度の計画へと進めています。

◇ 今年度の各集落事業などの内容については、3月発行のまちづくり新聞に掲載予定で進めています。

